



平成17年9月27日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所の調整運転開始について

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット）は、第21回定期検査での所定の点検終了後、原子炉起動中の圧力上昇に伴う操作において、8月10日に電動機駆動原子炉給水ポンプ（B）出口弁（B系出口弁）の調査のため原子炉を停止しました。

その後、B系出口弁の内部を点検したところ、弁棒の下部が破断していることを確認しましたので、原因の詳細調査を行うとともに、その調査結果に基づき、対策を実施しました。

（平成17年8月10日、16日、9月9日発表済）

また、起動時に万全を期すため、機器の健全性確認・評価等の総点検を行ってきましたが、原子炉再循環ポンプ（B）流量制御弁*¹ガスケット*²の交換を含め原子炉起動前点検が終了し、準備が整いましたので、原子炉を起動し、定期検査の最終段階である調整運転を開始する予定です。

今後も、発電所の安全安定運転について万全を期してまいります。

運転再開予定

原子炉起動	平成17年 9月28日 2時頃
調整運転開始	平成17年 9月30日
定常運転再開	平成17年10月下旬

次回定期検査予定

平成18年 秋頃

以 上

* 1：原子炉再循環ポンプにより、原子炉に供給される冷却水の流量を調整する弁。

* 2：金属のインコネルと黒鉛を多層に挟みこんだパッキン材